



本を手にとってもらえるよう工夫を凝らして、生徒が「これおもしろかったよ」と言ってくれよう、そして卒業後に本校の思い出の片隅に図書室が残るよう、附属横浜中のオアシスとなるよう、先生とともに運営努力してまいりたいと思います。

今年度は充実した雑誌架の前にブラウジングに適したソファベンチを同窓会費より購入していただき、図書館の環境も一層充実してきました。明るくわくわくするような、そして静寂の空間の融合を目指します。

最初に「図書室」は、学校図書館法に基づいた「学校図書館」であることを理解いただきたいと思えます。学校図書館が学校教育において欠くことのできない基礎的な設備であることにかんがみ、その健全な発達を図り、もって学校教育を充実することを目的とする。同法第一条に公的に宣言しています。

学校図書館が学校教育の教育課程の展開を支えるものとして、資料センター及び学習センターとしての機能を発揮できるよう運営全般に関する仕事を行っています。この数年の情報化、国際化などの進展の中で、情報の処理や活用を図るなどの生涯学習に必要な能力や態度の育成についても重要な取り組みと考えます。豊かな心をもちたくましく生きる人間の育成や、社会の変化に主体的に対応できる生徒の育成を図るとともに、個性を活かす教育の充実をはかることを目的とする学校図書館の役割は大きいものです。

しかしながら、生徒一人一人が自ら読書する気持ちにならなければ、読書は成り立たないし、生徒一人一人の読書意欲を導き出さなければ生き生きとした読書活動の展開は望めません。つまり、積極的な読書態度を育て、一人一人のよさを生かす読書指導や利用指導の展開が重要であると考え日々の業務を行っています。

学校司書の仕事内容は、本の選定やレファレンスだけでなく、読書活動、教科学習への支援や環境整備などがあります。

本校図書館の蔵書は学校図書館図書標準をまだ満たしておらず、積極的に蔵書を構築している途中です。よって、資料の選定は最重要課題であり、文学に過度に偏ることのないよう、自然科学や社会科学の分野を高めつつ、本校の総合学習TOFYに合わせた資料をそろえるなどニーズに応じた調和のとれた蔵書構成を心がけています。

TOFYでのレファレンスは多く、生徒それぞれが自分なりの回答にたどり着くための材料提供を幅広い視点で行うことが求められます。今までの経験を総動員して役に立つよう支援します。

そして、読書活動、読書の世界への働きかけとして夏・冬の特別貸出の企画運用、読書週間に今年はクラス対抗ジグソーパズルキャンペーンを展開し大いに盛り上がりました。まだまだ読書のおもしろさを知らない生徒に、いろいろな機会を作って知らせたいと思います。本校の図書館は北東三階奥という生徒の動線から外れた位置にあります。これは自分で意識しない限り図書館に行く機会はありません。廊下に黒板キャンバスを配置したり、扉に「ようこそ」と切り文字を配したりと、季節展示を心がけるなど、生徒に関心を持ってもらえるよう日々努力と工夫を凝らしていますが図書館に足を運ばない生徒への対応が課題です。



オアシス

めがね

学校司書 加瀬 由加

